

令和4年5月

新副支部長、事務局長就任挨拶



上間 優 副支部長

前副支部長である比嘉幹郎氏より日本赤十字社沖縄県支部副支部長を引継ぐことになりました上間 優と申します。

もとより微力ですが、これまで培った経験を最大限活かし、赤十字事業の推進に精励しその使命の達成に専心努力いたす所存でございます。

また、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という日本赤十字社の使命のもと、災害救護をはじめとする各種事業に協力して参りますので、皆様のご理解・ご協力を宜しくお願い申し上げます。



上間 司 事務局長

4月1日付けで日本赤十字社沖縄県支部事務局長を拝命致しました上間司と申します。

人道の実現という崇高な使命に関

わることができて幸せに感じております。私の座右の銘は「現状維持は後退の始まりである」です。沖縄県、世界を取り巻く環境が激しく変化する中、県支部の活動が積極的に行われるよう職員との連携・協力を大切にして一生懸命取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

5月は「赤十字会員増強運動」月間です



2022年赤十字運動月間ポスター

赤十字活動の推進につきましては、皆さまのご支援に感謝申し上げます。

今年も、5月に「赤十字運動月間」が全国一斉に展開されます。

新型コロナウイルス感染症が世界的に広がりを見せ2年が経過致しました。沖縄県内においてもまだまだ感染防止対策が必要な状況が続いておりますが、このような状況においても災害は起こりえます。一昨年には、コロナが全国に広がりを見せるなか、九州地方を中心に発生した豪雨災害に、沖縄県支部、沖縄赤十字病院からも2個班の医療救護班を派遣するなどの災害救護活動を実施しました。

このような活動は、県民の皆様から寄せられる活動資金によって賄われております。“救いを託されている”の月間スローガンと共に日本赤十字社の活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

銀行等の窓口には訪問することなく、ご自宅からご寄付いただくことが可能です。

継続的なご支援によって赤十字の活動は支えられています

1日約70円からはじめられる、苦しんでいる人を「救うこと」。



たとえば毎月

2,000円

のご寄付で

**安眠セットを年間
8人分備える**

避難所での夜を少しでも快適に過ごしていただけるようキャンピングマット、枕、アイマスクなどをセットにした「安眠セット」を年間8人分備えることができます。



たとえば毎月

3,000円

のご寄付で

**緊急セットを年間
24人分備える**

災害発生直後からの避難所生活時に必要となるものが一式収納された「緊急セット」を年間24人分備えることができます。



たとえば毎月

5,000円

のご寄付で

**Bangladesh 避難民に
こころのケアを
年間600人に行える**

日本赤十字社の職員は、Bangladesh 避難民が先の見えない生活の中で少しでも安心できるように、悩みを聞いたり、相談になる活動を行っています。年間600人分のこころのケアを行うことができます。



たとえば毎月

10,000円

のご寄付で

**年間1台の
トイレ整備ができる**

シリア難民キャンプの不衛生なトイレ環境を整えることで感染症を防ぎ、衛生状況を改善することができます。年間1台のトイレを設置することで健康とプライバシーを守る活動を行うことができます。

クレジットカードによるご寄付のお申込みはこちら

インターネット：<https://donate.jrc.or.jp/lp/>

日本赤十字社 寄付 検索

2次元バーコード

